



## 国際社会で躍動できる人材の育成と 国際競争力のある研究活動の推進



的確な情報発信・コミュニケーション

### 本学の社会的価値を高め、新たな価値を創造

現代社会は、地域、国内、国外、学术界、産業界、自治体など、多様な構成要素が、状況に応じ、その特性、要求等を急速かつ複雑に変化させる時代。このような社会に対応できる大学として、時間と空間の拡がりを意識した取り組みを行う。

## 人と知恵が集まり、成長する場所作り

(九工大がその機能を持続的に果たし、発展させるために)

#### 施策 ①

教育の質、研究水準等について、自らの状態を適切に認識し、必要に応じ組織、制度を改めつつ、機能の充実を推進

#### 施策 ②

学内の教育・研究資源の学外利用促進、学外組織との共有の仕組み作りとその活用によって本学の機能の充実を推進

<p>対話 ネットワーク 情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>110周年記念フォーラム@東京</b>（250名超の参加者。麻生財務大臣、飯塚市長、文科高等教育局長出席）</li> <li>◆ <b>無人店舗実証事業</b>スタート（QTnet及び九州工業大学生協同組合と連携）</li> <li>◆ 自治体との連携（北九州市・安川電機との地方創生事業、<b>飯塚市とのふるさと納税</b>開始など）</li> <li>◆ <b>高等専門学校や海外の大学に勤務している卒業生との共同研究を支援する制度の継続</b> ⇒ 2016年度：7件、2017年度：13件、2018年度：31件、2019年度：14件</li> <li>◆ 2箇所目の<b>海外拠点をタイのバンコク</b>に設置</li> <li>◆ 学長記者懇談会（3回/年程度開催。今までに11回開催し、次回1/30開催予定）</li> <li>◆ 大学機関別選択評価・選択評価事項C「教育の国際化の状況」を受審</li> </ul>
<p>研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 組織的産学連携「<b>共同研究講座</b>」新たに3件開設し、<b>計11件が稼働中</b></li> <li>◆ 共同研究・受託研究・学術指導の<b>間接経費を直接経費の30%</b>に改定</li> <li>◆ 共同・受託研究の受入金額が、10月末時点で<b>前年度を更新</b></li> <li>◆ 共同研究支援事業採択 （①台湾科技大5件、②UPM3件、③<b>ペトロナス工科大2件</b>、④<b>情報通信研究機構(NICT)5件</b>）</li> <li>◆ 研究力強化支援事業公募（27件の応募で9件採択、別途若手枠3件採択）</li> <li>◆ イノベーション推進機構（グローバル産学連携センター）<b>改組</b>に向けた準備</li> <li>◆ MSSCの活動が「令和元年度地球温暖化防止活動<b>環境大臣表彰</b> 国際貢献部門」を受賞</li> </ul>
<p>教育・学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>大学院工学府改組</b>（「工学専攻」の1専攻化に）</li> <li>◆ 海外派遣学生 2016年度：517名、2017年度：615名、<b>2018年度：697名</b></li> <li>◆ 学生プロジェクトチーム：新たに、<b>QTnet, 佐電工様</b>がご支援</li> <li>◆ 学生フォーミュラ、衛星開発プロジェクトは、<b>クラウドファンディング</b>により活動費の一部を調達</li> <li>◆ 「eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム」のキックオフフォーラムを本学で開催</li> </ul>
<p>入試・学生募集</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ AO入試を学外（<b>大阪会場</b>）で実施</li> <li>◆ 志願倍率、偏差値も上昇傾向。関西、東海地方からの志願者も増加（56%が福岡県外からの入学）</li> </ul>
<p>環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新年俸制の制度設計と説明会開催</li> <li>◆ <b>学長と教育職員の対話</b>の実施（計10回開催、97名が参加）</li> <li>◆ 事務職員の人事制度改革（新しい<b>職能評価制度</b>の開始、評価者研修の実施）</li> <li>◆ 事務職員によるジョブチャレンジ制度の継続（学生の海外派遣支援、学報KITAYOの発行など）</li> <li>◆ <b>パートタイム職員の無期転換</b>：65名、<b>業務支援職員の無期転換</b>：5名</li> <li>◆ 教育職員の<b>在宅勤務制度</b>の利用：9名（女性7名、男性2名 ※うち2名が介護理由）</li> <li>◆ 文科省ダイバーシティ補助事業の<b>中間評価で「S評価」</b></li> </ul>

## 『九州から発信する新時代の産学連携』

- 2019年8月23日（金）@大手町サンケイプラザ
- 産業界、OBなど250名を超える参加者
- 第一部 記念フォーラム
  - ・ 大学紹介
  - ・ パネルディスカッション（産学連携が彩る共創環境）
  - ・ 最先端研究の紹介
- 第二部 感謝のつどい



麻生太郎財務大臣による来賓挨拶



尾家学長による大学紹介



パネルディスカッション



最先端研究の紹介

九州工業大学 110周年記念フォーラム  
九州から発信する  
新時代の産学連携

2019年8月23日 金  
大手町サンケイプラザ  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2  
【大学駅】A4・E1出口から直結  
【美術館】丸の内線口より徒歩7分

参加無料

九州工業大学は1909年に明治専門学校として創設し、長きにわたり「国産に  
精進な士君子」を輩出し、健在、最優秀、国内外の大学、自治体等との連携活動  
を通じて、発展を遂げた異例的な発展研究活動を推進しています。  
この日、創立110周年を記念して、本学の多様な産学連携研究や、その  
社会への波及内容を踏まえ、本学の優れた研究の取組などを紹介することで、  
様々な組織との新たな連携を創出する機会として、「記念フォーラム」を開催します。  
第2部として開催する「感謝の集い」では、創立110周年を記念したことに  
際立って、関係のみなさまとの関係の確を築くとともに、学生の活躍（学生  
プロジェクトのプレゼン）を紹介し、  
また、学長が来賓や卒業生の方々と対談した「入試説明会」を開催し、AO  
入試や、2020-2021年度入試の重要点などについて説明します。

第一部	記念フォーラム	13:30~17:00	※対象：どなたでも参加いただけます。 ※定員：500名（定員いっぱいでは参加不可）
第一部	感謝の集い	17:30~19:30	※対象：卒業生、卒業生、元教職員、関係機関
第一部	入試説明会	18:30~19:30	※対象：関係機関、関係者 ※対象：卒業生、卒業生の進路指導担当

※本プログラム、懇親の集い、AO  
説明会、入試説明会  
https://www.kyushu-u.ac.jp/110th-anniversary/

お問い合わせ  
九州工業大学事務局の連絡先  
TEL 093-886-3056  
E-MAIL kousommu@kyushu-u.ac.jp

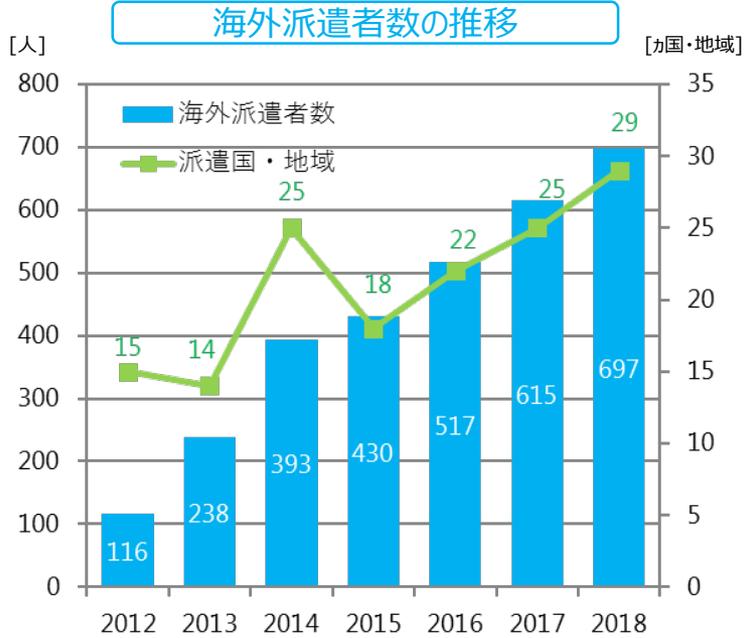
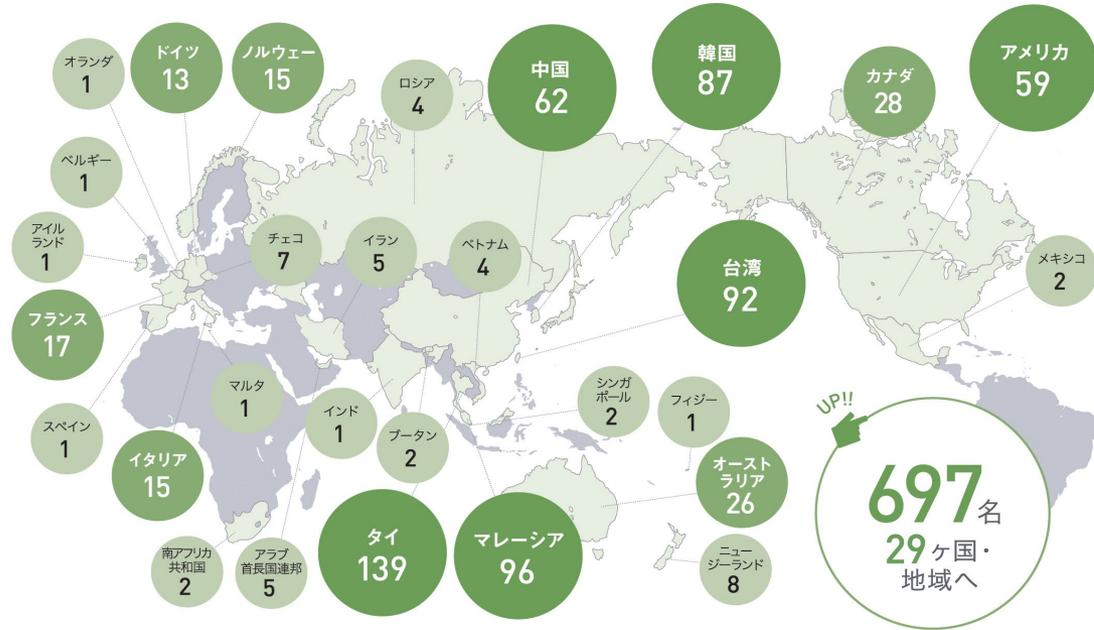
お問い合わせ  
110周年記念  
https://www.kyushu-u.ac.jp/110th-anniversary/

後援：一般社団法人明徳会



第2部 感謝の集い

## グローバル・コンピテンシー涵養のため多様な海外派遣を推進



「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」第6回フォローアップ調査より  
 ◆2017年度日本人留学生の外国留学者比率（学部+大学院） **3位 九州工業大学**

**2019 新設！**

### 英語だけで修了できるコース

部局	コース名
工学府	宇宙工学国際コース
工学府	マテリアル工学コース
情報工学府	LSI and Applied Computing コース
生命体工学研究科	AAR(Advanced Assistive Robotics)コース
生命体工学研究科	Global Green Energy and Electronics コース

### Global Green Energy and Electronics (G2E2) Course

留学生と日本人学生が共修する環境を提供し、現代社会が抱えている環境・エネルギー問題に着目したグリーンでクリーンな持続可能な社会を構築するための教育研究を行い、諸外国と連携したグローバルリーダーとなり得る人材教育を行います。環境やエネルギーの問題に関する先端的なグリーンエレクトロニクス分野の教育を行うことで、国境を越えた持続可能な目標（SDGs）に沿ってすべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを教育目的としています。

# 志願倍率・地域別入学者数

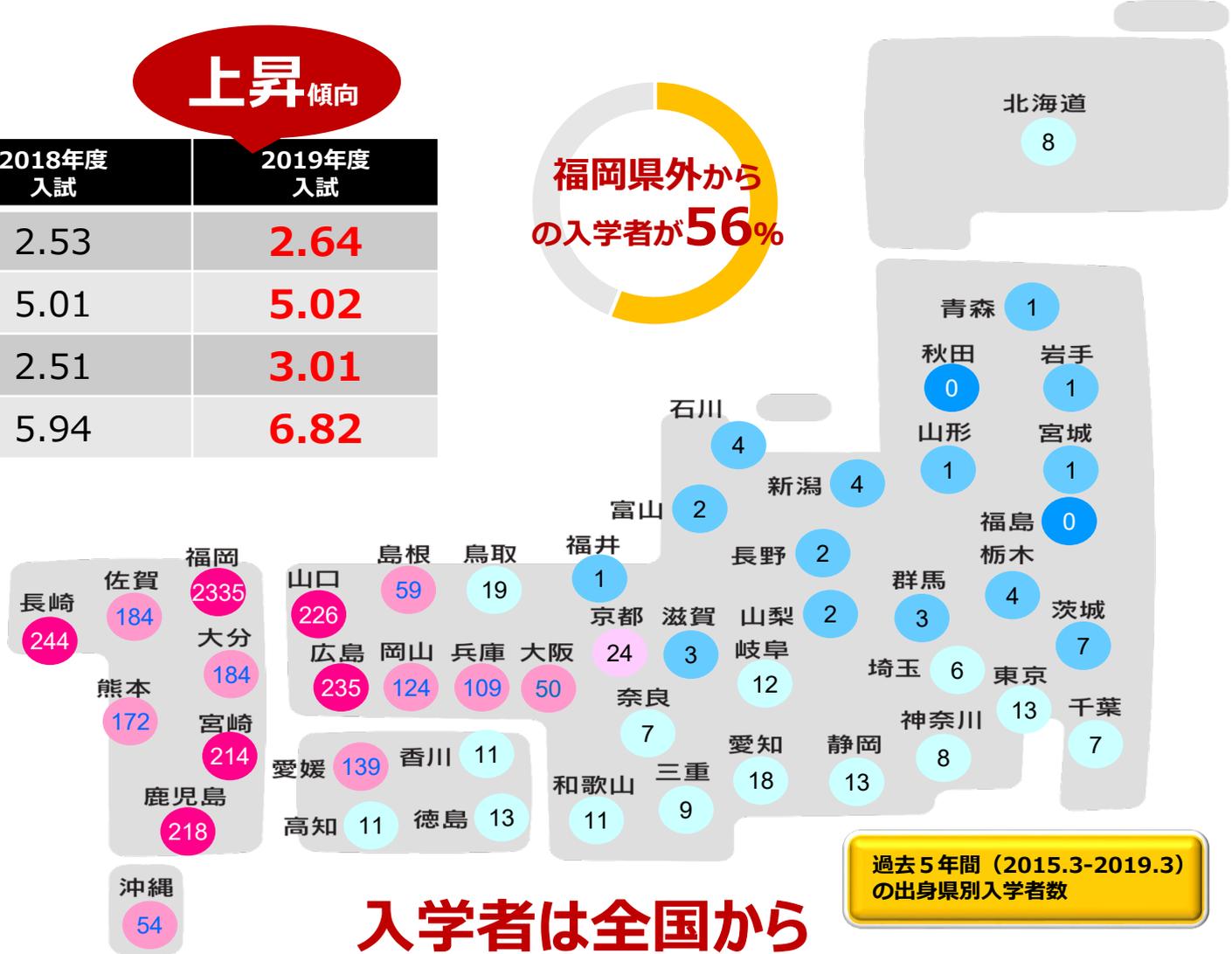
## 志願倍率

学部	入試区分	2018年度入試	2019年度入試
工学部	前期	2.53	<b>2.64</b>
	後期	5.01	<b>5.02</b>
情報工学部	前期	2.51	<b>3.01</b>
	後期	5.94	<b>6.82</b>

**上昇**傾向



**今秋のAO入試**  
大阪会場に加え  
**東京会場**  
でも実施予定



過去5年間 (2015.3-2019.3)  
の出身県別入学者数

**入学者は全国から**  
**関西・東海地方からの志願者も増加中!**

## 共同研究講座・共同研究部門（研究推進 & 人材育成）

設置実績：11件（2020.1現在）

講座等名称	受入部局	設置期間
SUMCO共同研究講座	生命体工学研究科（若松）	2017.7～（3年間）
IoTシステム実装研究講座（パナソニック共同研究講座）	工学研究院（戸畑）	2017.11～（3年間）
ECCウェルネス共同研究講座	情報工学研究院（飯塚）	2018.4～（3年間）
デンソーLean Automation共同研究講座	工学研究院（戸畑）	2018.4～（3年間）
プラントライフサイクルエンジニアリング（PLE-TAKADA）講座	生命体工学研究科（若松）	2018.4～（3年間）
安川電機ロボット新技術開発講座	工学研究院（戸畑）	2018.8～（3年間）
SANWA Corp. グリーンマテリアル共同研究講座	工学研究院（戸畑）	2018.10～（1年6か月間）
デンソー生産準備IoT 共同研究講座	情報工学研究院（飯塚）	2018.10～（3年間）
機能性材料 共同研究部門	分子工学研究所（戸畑）	2019.4～（3年間）
新規材料分子設計 共同研究部門	分子工学研究所（戸畑）	2019.4～（3年間）
釜屋電機超高信頼性デバイス 共同研究部門	マイクロ化総合技術センター（飯塚）	2019.8～（3年間）

## ジョイント・リサーチ・プロジェクト -個人の繋がりを、組織の連携に-

### プトラ大学



- ◇ 2017年3月14日、共同研究プロジェクト推進のための「趣意書」を締結
- ◇ 2017年9月よりジョイントプログラムを開始（2019年度 3件新規）

プトラ大学との共同研究支援：3件採択

### 台湾科技大学



- ◇ 2017年4月12日、共同研究プロジェクト推進のための「合意書」を締結
- ◇ 2017年8月よりジョイントプログラムを開始（2019年度 2件継続、3件新規）

台湾科技大学との共同研究支援：5件採択

### 情報通信研究機構（NICT）



- ◇ 2018年12月1日、共同研究プロジェクト推進のための「包括的な連携協定書」を締結
- ◇ 2019年4月、ジョイントプログラムテーマを審査

NICTとの共同研究支援：5件採択

### ペトロナス工科大学（UTP）



- ◇ 2019年9月30日、共同研究プロジェクト推進のための「合意書」を締結
- ◇ 2019年11月よりジョイントプログラムを開始

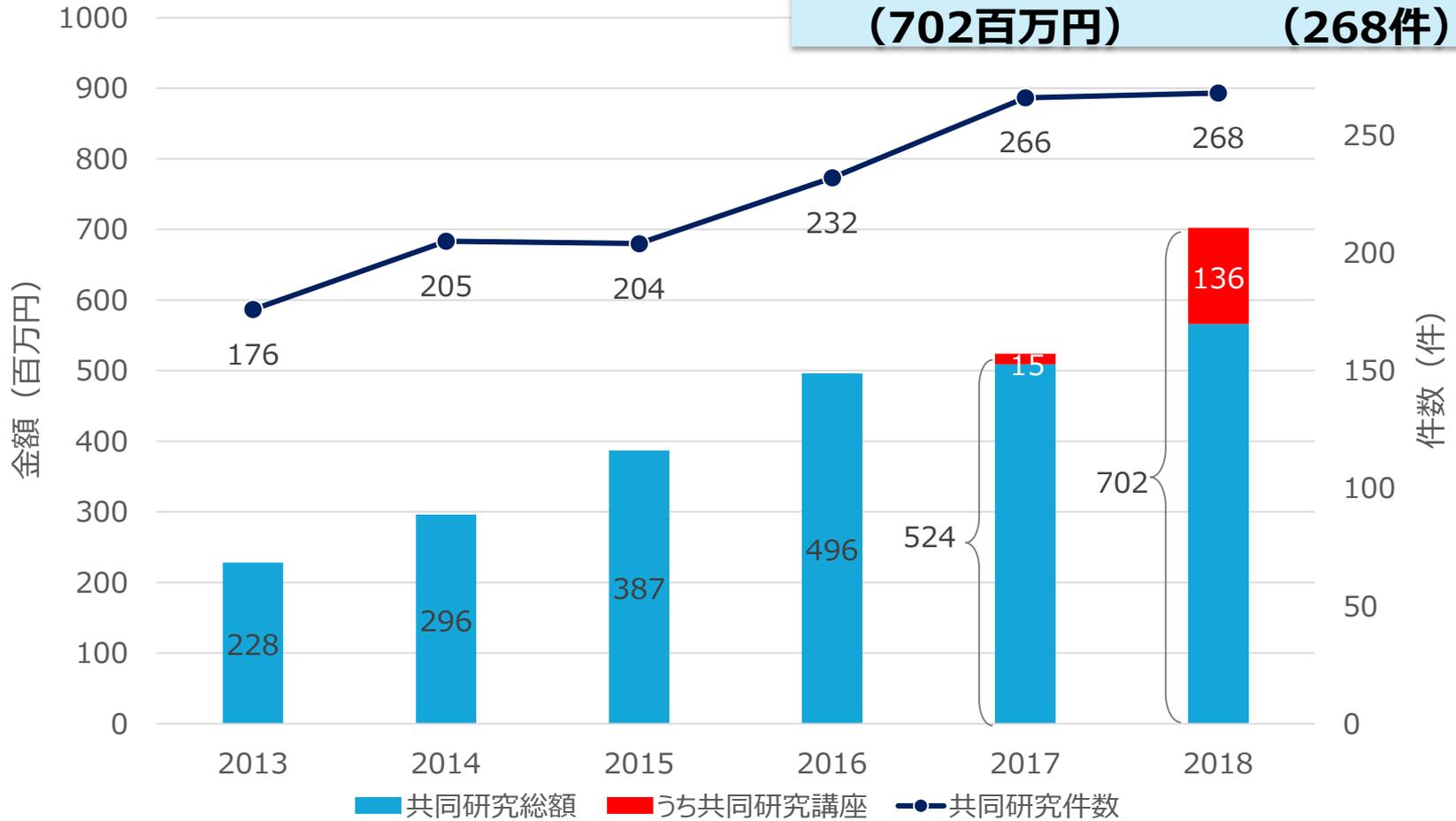
UTPとの共同研究支援：2件採択

2019年度  
New



## 共同研究契約実績の推移

● 2018年度実績 前年比  
**金額：1.3倍** **件数：1.0倍**  
**(702百万円)** **(268件)**



● 民間企業との共同研究に伴う研究者 1 人当たりの研究費受入額(2017)  
**第12位 (国立大学 9位)** ※平成29年度大学等における産学連携等実施状況

## 未来思考キャンパス構想

学生へ

学ぶことによって、どのような未来を実現できるようになるのかを実感し、現在の自分が未来へどのような変化を与えることができるかに挑戦できるキャンパス（学習意欲の向上）

教員へ

独自技術を柔軟に活用し、社会にどのような影響を与えることができるのか実践できるキャンパス（技術による近未来社会のテーマへの付加価値創造）

### （第1弾）無人店舗実証事業

無人店舗の実証を通じて、社会的課題の解決に資する研究やアイデアの実現に挑戦します



**「con-tech」ってナニ？**

<b>取扱商品</b> ●菓子 ●カップ麺 ●ドリンク類など ニーズを踏まえた商品ラインナップを検討中	<b>営業時間</b> 9月から <b>24時間営業</b> になりました	<b>営業開始</b> <b>2019.6.4</b> <b>店舗運営</b> 九工大生協	<b>名称</b> <b>con-tech</b> 利便性 (convenience) に溢れたコンテナ (container)、それに顔認証やAIといった最先端の九工大 (kyutech) の技術 (technology) を付加していくことを目指し、「con-tech (コンテク)」と名付けました。 ※学内投票により決定
--	--	--	---

**HOW TO USE?**

<b>支払い</b> 生協の組合員証で決済  九工大生協のチャージ式プリペイドカードでのみ決済可能です。	<b>購入品決定</b> 画像認識による商品識別  購入する商品をレジにのせると、AIがレジ上の商品を識別します。	<b>店舗内への入店 &amp; 退店</b> 顔認証 or ICカード認証 カメラに顔を向けるか、学生証・職員証をかざすことでドアが開閉  顔認証のマスターデータには、学生証や職員証の写真を活用しており、許可いただいた方のデータ(約700名分)のみを登録しています。
---	--	--



## 世界大学ランキング 2020

**1001+ 位**

(昨年度は801-1000位)

日本の大学で、**46位** / 110大学

(昨年度は 47位 / 103大学)

### 【分野別ランキング 2020】

Engineering and Technology分野

**601 – 800 位**

日本の大学で、**15位** / 76大学

(THE WORLD UNIVERSITY RANKINGSホームページより、本学独自集計)



## Asia 大学ランキング 2019

**203位**

(昨年度175位)

日本の大学で、**31位** / 89大学

(昨年度は 32位 / 77大学)

スコア  
特徴

どちらのランキングにおいても、Citation (論文の被引用数・率)の指標はこれまで本学で一番弱い項目となっておりますが、近年、堅調にスコアは上昇しており、今回も高い伸びを示しています。

THE (Citations)			
2017	2018	2019	2020
14.3	18.2	23.1	<b>31.0</b>

QS (Citations per Paper)		
2017	2018	2019
–	–	<b>24.4</b>

今後の  
対応

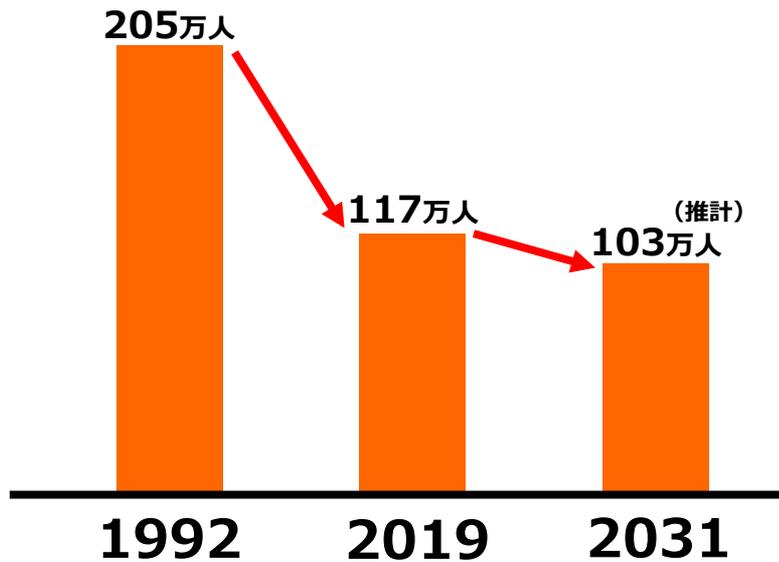
教育職員評価において、文献データベースScopusに掲載されている論文の被引用数を評価項目に追加しました。

CitationがELSEVIER社のデータを用いていることから、海外の論文誌等への投稿を増加させる取組により、ランキング向上につながると考えます。よって、国際共著論文数を増加させるために海外の研究機関との共同研究の取組を継続していきます。

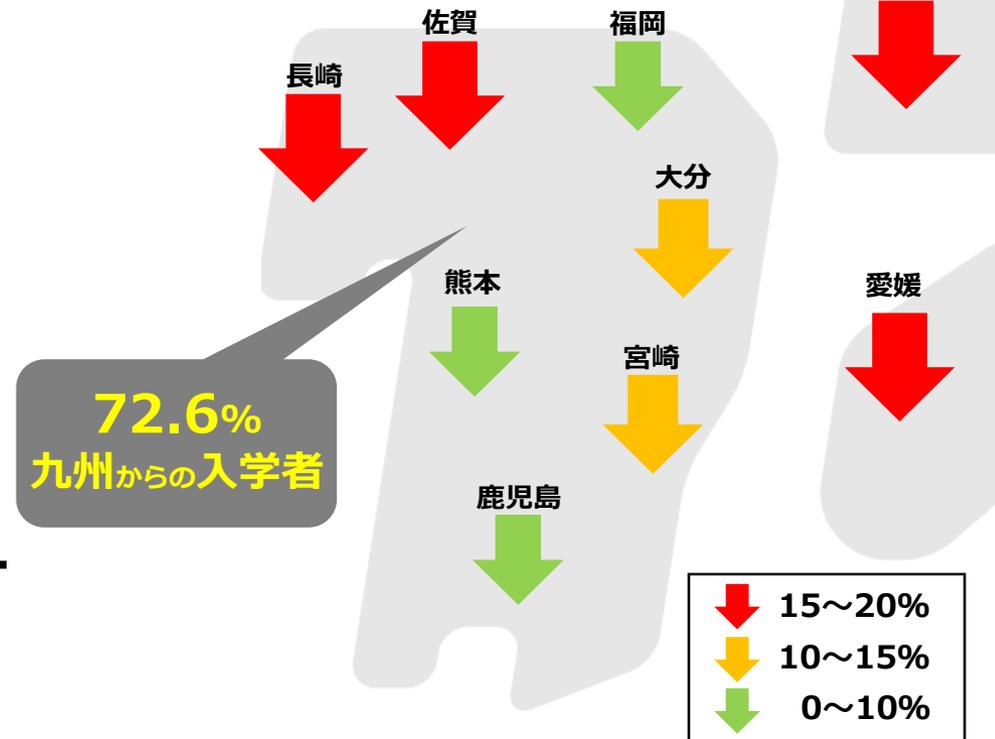
また、QSランキングについては、海外からの交換留学生比率、海外へ留学する交換留学生比率の指標があるため、今後、中長期の学生派遣プログラム及び留学生受入プログラムの開発に向けて、検討を行っていく予定です。

## ◆外部環境の変化①

-大幅な18歳人口の減



## 県別18歳人口の減少率予測 (2019→2031年)



- ・ 良質な教育の提供とその成果の積極的な情報発信
- ・ AO入試を大阪に続き、今秋から東京でも実施
- ・ 本学の機能充実：高度な人材育成の拡充（大学院定員増）の検討

## ◆外部環境の変化②

### -不透明な未来『VUCA』 〈OECD Education2030〉

※ VUCA : 不安定(Volatility)、不確実(Uncertainty)、複雑(Complexity)、曖昧(Ambiguity)

【社会を変革し、未来を創造する「変革力」のある  
コンピテンシーを備える人材】

新たな価値を  
創造する力

対立やジレンマ  
を克服する力

責任ある行動  
をとる力

**本学職員にも必要な能力**

- 
- ・ VUCA対応GEコースプログラム
  - ・ 生涯学習の必要性 (リカレント教育プログラムの整備・実施)
  - ・ 大学院教育プログラムの高度化 (データサイエンティスト育成) など

## ◆本学の状況

### -財務状況

- ・ 運営費交付金及び授業料収入の減少（法人化以降、10億円減少）
  - ・ 人件費の上昇
  - ・ 評価次第で運営費交付金が毎年度変動
- ➡
- ・ 様々な評価指標(進学・就職状況、博士号授与、研究業績、科研、外部資金受け入れ実績等)を見据えた自律的対応(学修者視点、機能の確認)
  - ・ 教育研究力の強化、成果の更新・公開、外部収入の増大など

### -科研費の採択状況、論文生産性などの研究指標

- ・ 同規模の大学と比較しても高くない
  - ・ 活発な教員に偏りがある
- ➡
- ・ 適切な現状認識、研究チーム編成と連携による研究遂行力強化

### -コンプライアンス（ハラスメント案件）

- ・ 毎年のように発生
- ➡
- ・ 「安心と誇りをもって働けるキャンパス」の実現
  - ・ ハラスメントのない組織作りに関する「学長宣言」の策定
  - ・ 外部専門家との連携強化、各種研修の実施

## ◇機能の充実

### -教育の高度化

- ・ 情報化、VUCAに対応すべく教育プログラムを改善
- ・ 大学院教育の高度化と拡充
- ・ リカレント教育プログラムの整備・実施
- ・ 学修成果の可視化と情報公開の促進

### -国際化の深化

- ・ 海外派遣の高度化（「量」から「質」へ）
- ・ 海外拠点の一層の活用
- ・ 国際拠点・連携ネットワーク形成とその活用

### -産学連携の深化

- ・ 教育・研究連携、本学資源の外部提供など様々なチャンネルで産業界と接続  
⇒オープンイノベーション教育研究機構（仮称）  
⇒旧体育館のオープンラボコンプレックス構想の実現へ

### -大学連携強化

- ・ 信頼関係の醸成に基づく強みの強化、弱みの補強による意義のある連携

## ◇財務改善

### -多様な外部資金の獲得（産学連携以外の取組も強化）

- ・ ふるさと納税（飯塚市：既に開始、北九州市：検討中）
- ・ リカレント教育の充実による社会人の取り込み
- ・ 本学の機能に基づくさまざまな自己収入の模索

飯塚市 Iizuka City

人が輝き まちが飛躍する  
住みたいまち 住みつけたいまち

文字サイズ・色合い変更 ▶ 携帯サイト ▶ Foreign Language

お問い合わせ 組織案内 サイトマップ

Google® カスタム検索 検索

ホーム 防災・防犯 暮らし 健康・福祉 子育て 教育・文化 スポーツ まち・環境 産業・働く 市政情報

ホーム > 市政情報 > ふるさと納税 > ふるさと納税 (個人) > ふるさと“いづか”応援メニュー

更新日：2019年10月1日

### ふるさと“いづか”応援メニュー

#### (7)大学応援寄附金

産学官連携事業の推進等を応援

「飯塚市内の大学を応援したい！」という方は、こちらのメニューをお選びください。  
市内にある大学の産学官連携事業等のために活用させていただきます。

[Excel ▶ 飯塚市ふるさと納税 \(大学応援\) 寄附申込書 \(エクセル: 53KB\)](#)  
[PDF ▶ 飯塚市ふるさと納税 \(大学応援\) 寄附申込書 \(PDF: 85KB\)](#)

[九州工業大学のホームページ \(外部サイトへリンク\)](#)

※ポータルサイトからの申込みはできません。  
※大学応援寄附金のメニューでは、飯塚市からの返礼品はありません。

# 2020年 は、

- ◆ 機構・センター等組織改編
- ◆ 飯塚キャンパス研究棟改修スタート（2020年度から4年間）
- ◆ 第3期の5年目/6年間（中期目標の中間評価）

学内が結束し、現状・自己認識に努め、伸びやかに学び、働き続けることが出来るキャンパスを実現し、多様な知恵を活かし、魅力的な大学で在り続けましょう！そのための環境整備に努めます。

みなさまにとっても、大学にとっても、本年も多くの良き機会に恵まれ、実り多く飛躍できる年でありますようお祈りします。今年もよろしくお願いいたします。